

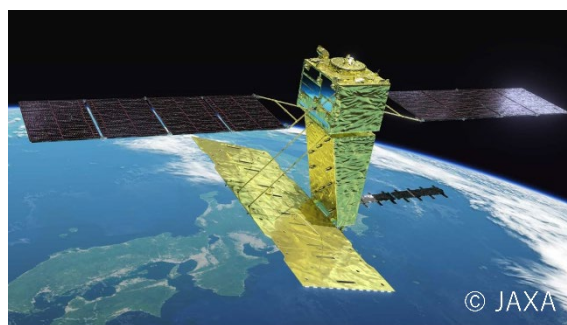
株式会社パスコ
一般財団法人リモート・センシング技術センター
株式会社 Tellus

(報道資料)

先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)観測データの提供開始

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）、一般財団法人リモート・センシング技術センター（本社：東京都港区、以下：RESTEC）、株式会社 Tellus（本社：東京都新宿区、以下：Tellus）の3社は、2025 年 11 月 10 日より先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4)のデータ提供（※1）を開始いたします。

ALOS-4 は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下：JAXA）が打ち上げた地球観測衛星「だいち（ALOS）シリーズ」の4号機で、Lバンド合成開口レーダ（PALSAR-3）センサーを搭載しており、200km（※2）という広い観測幅を3mの分解能で撮影できることが特徴です。また、衛星と地上局間の直接伝送は、最大 3.6 Gbps（※3）での高速データ伝送が可能であり、光データ中継衛星を介した通信（※4）にも成功しています。中継衛星を介することで、地上局と直接通信できないエリアで観測したデータであっても、即時に地上伝送できるようになりました。



ALOS-4 データは、自然災害の迅速かつ詳しい状況把握に加え、地盤沈下の状況把握、環境保全、インフラ管理、海氷監視、資源探査など、さまざまな分野での活用が期待されています。

ALOS-4 データの提供は、パスコが JAXA との主契約者となり、RESTEC と Tellus がパスコのパートナー企業として、3社連携のもと進めてまいります。3社は、ALOS-4 データの利用拡大と ALOS-4 データを活用したサービスの創出・提供に取り組んでまいります。

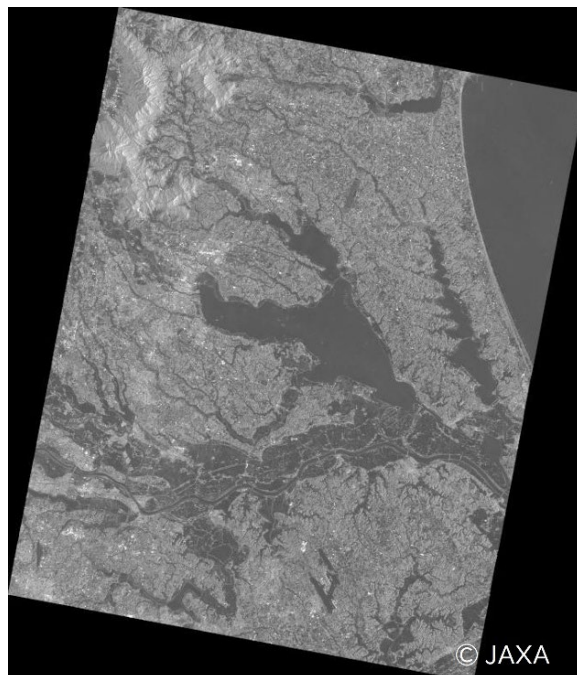
※1 ALOS-4 データはアーカイブデータのための提供

新規撮影は「だいち2号（ALOS-2）」で対応します

※2 観測幅は「だいち2号（ALOS-2）」の4倍

※3 通信速度は「だいち2号（ALOS-2）」の4.5倍

※4 通信速度は 1.8Gbps



JAXA 提供のサンプルプロダクトより
（霞ヶ浦付近）

■サンプルデータの提供について

初めて ALOS-4 データをご利用いただくお客様を対象に、撮影済みのサンプルデータを提供いたします。各モードでサンプル提供が可能です。提供は 1 シーン※1 単位となります。利用条件など詳細については、下記のお客様窓口までお問合せください。

※1 シーンの観測幅などは下表の「シーンサイズ」でご確認ください

観測モード	観測モード詳細 (略称)	分解能		シーンサイズ	
		レンジ (幅)	アジマス (進行方向)	レンジ (幅)	アジマス (進行方向)
スポットライト	スポットライト / Spotlight (SPT)	3 m	1 m	35 km	35 km
高分解能	高分解能 (3m) / Stripmap 3m	3 m	3 m	50～62 km	70 km
	高分解能 (6m) / Stripmap 6m	6 m	6 m	50～62 km	55 km
	高分解能 (10m) / Stripmap 10m	10 m	10 m	39～70 km	70 km
広域観測	広域観測 (25m) / ScanSAR	25 m	25 m	703 km	355 km

参考) パスコが先進レーダ衛星のデータ・サービス事業者として選定される
- 「だいち 4 号」(ALOS-4) 観測データ活用に向けたサービスを推進 -
<https://www.pasco.co.jp/press/2025/download/PPR20250116.pdf>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ ALOS 衛星データ専用サイト <https://alos-pasco.com/>
(報道機関) 広報部 press@pasco.co.jp
(お客様) 衛星事業部 info@alos-pasco.com

一般財団法人リモート・センシング技術センター <https://www.restec.or.jp/>
(報道機関) 広報課 restec_prs@restec.jp
(お客様) サポート窓口 data@restec.jp

株式会社 Tellus 「Tellus」サービスサイト <https://www.tellusxdp.com/>
(報道機関) 広報担当 菅谷 tomohiro.sugaya@tellusxdp.jp
酒井 yuki.sakai@tellusxdp.jp
(お客様) ビジネス開発部 satellitedata_supportdesk@tellusxdp.com